

■ロシア・中国：ロスアトム燃料子会社、中国の高速実験炉に燃料供給

ロシア国営原子力企業のロスアトム社は2019年7月9日、子会社である TVEL 燃料会社が中国の高速実験炉（CEFR）用の燃料1バッチ分を納入したと発表した。同社の発表によると、同燃料は TVEL 社と中国原子能工業有限公司（CNEIC、中国核工業集团有限公司 CNNC の子会社）、中国原子能科学研究院（CIAE）との契約に基づき、同社モスクワ地区の工場で製造されたものである。CEFR は研究用に使われているが、2万 kW の発電所としても運用され、国際原子力機関（IAEA）は、ロシア以外の国に存在する唯一の高速動力炉として分類している。また、中国が建設中の CFR-600 型高速中性子実証炉用の燃料も、同社と CNNC の子会社が2019年1月に締結した契約に基づき同工場で製造する予定としている。さらに両国は、田湾原子力発電所のロシア型軽水炉 VVER-1000 用燃料の供給、ロシア製燃料部品を使った Yibin（四川省宜賓）工場での VVER-1000 用燃料のライセンス生産に続き、VVER-1200 用燃料の供給についても交渉しており、高速炉技術の協力は、その長期的戦略の一環と見られる。